くらしの声と願いで政治を動かす

政策のまとめ役

策に放射能汚染対策が盛り込まれました。

経済産業省では、原発事故対策を求め、 県政要求では、粘り強いとりくみで、

…国政・県政にも

費の完全支給などを要求し、

前進を切り開きました。

毎回の議会で質疑と質問、

討論をおこない、

「検討課題とする」との答弁をひきだしました。

国政・県政にも市民の願

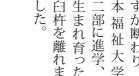
要求実現の突破

後期高齢者医療広域連合議会でも論戦をリー 子ども医療費無料拡大を

民の思いによりそってわたしの道

陸上部に所属し、たものです。中学 選手としてスカウトもあったので





く母の姿見て 育った少年のころ

市議会では毎回、質問に

955年

た姿に心いたみ、「こんなに働いしました。母の荒れた手や疲れ げで温かい思い出が残っています まれ57歳。小学生のときに父が (昭和30年)に生 林業の手伝いを 企業から陸上子、高校時代は 母が建設作業 わたしも新 母のおか わたし 女性が、 生存権保障を求める堀木訴訟やいたこともありました。同時に、 支えあっています。そして、 そのものに問題があることに気づ く人が貧しいのは社会の仕組みらしく生きる」ことを学び、働 ネルギーをそそぎました。「人間 朝日訴訟を知り、その支援にエ 生生活は想像以上につらく、 中華料理店と、 が大きかったように思います。 さの原因や解決の道を探り、 した運動の先頭に立っている人た の恩返しをしたいという気持ち 福祉大学を選んだのは、 新聞配達に地下鉄工事、 今は妻として、 その思いに共感した

なぜ貧乏なのだろう」

考えた福祉大学時代 命のたいせつさを

下宿のおばさんの胸で泣 働きながらの学 貧し の大分市議会議員活動も5期によう全力をあげたいと決心して福祉、暮らしを守り充実させる い、市民のみなさんの命と健康、権利は待っていてもやってはこな る日々です。 福祉制度のひどい現実とぶつか に役立てば」と心しての毎日は、 になりました。 30年を超し、 大分市で生活するようになって健康を守る会」に勤めました。 求めて、活動の毎日 大学卒業後は、「大分生活と

人間らしく生きる

すっかり大分市民 「みなさんのため

聞や牛乳配達、

生活は質素で、

の3人を育てました。

員として働き、 病で倒れました。

尺

姉



ともに

全対策、猪被害などスピーディ た要求は現地調査、 と地域住民からの声です。 暮らしの生活相談を受け、 市交渉をすすめ、 をすすめ、障害年金申請、浸水対策、地域のすみずみで住民と懇談・対話。 ーな対応に 「こまったときには、ふくまさん」 交通安

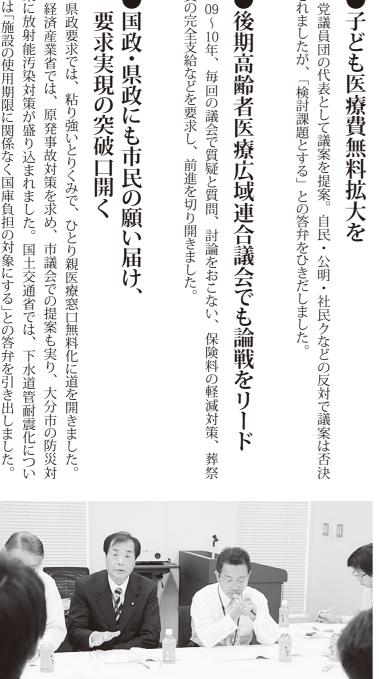
人権無視の生活保護行政をただす

弱いものいじめの福祉行政に立ち向かっています このささやかな願いを奪ってきた福祉行政。

国保税引き下げに県の支援を求め交渉

●「負担は限界」安心できる国保制度・介護保険に

案し値上げ幅を縮小。また施設整備の促進、低所得者への減免制度拡充にました。介護保険料の大幅値上げをおさえるため、積立金・基金活用を提 の先頭にたち一般会計からの繰り入れを実現し値上げをおさえてきまし 「国保税の負担はもう限界」と切実な声ばかり。 滞納を理由にした保険証とりあげ、差し押さえの不当性をただしてき 国保税値上げ -止署名



経済産業省に、原発対策で交渉